

食品安全情報（微生物） No.15 / 2026（2026.07.22）

国立医薬品食品衛生研究所 安全情報部

(<https://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/index.html>)

目次

【[米国疾病予防管理センター（US CDC）](#)】

1. 冷凍ブルーベリーに関連して複数州にわたり発生している大腸菌 O145 感染アウトブレイク（2026 年 7 月 6 日付初発情報）
2. 乳児用調製粉乳に関連して複数州にわたり発生している乳児ボツリヌス症アウトブレイク（2026 年 7 月 6 日付更新情報）
3. ソフトチーズに関連して複数州にわたり発生しているリステリア（*Listeria monocytogenes*）感染アウトブレイク（2026 年 6 月 29 日、24 日付更新情報）
4. モリンガリーフパウダーに関連して複数州にわたり発生しているサルモネラ（*Salmonella* Typhimurium および *S. Newport*）感染アウトブレイク（2026 年 6 月 30 日付更新情報）
5. 米国のサイクロスポラ症患者に関する 2026 年のサーベイランス調査（2026 年 7 月 14 日、10 日付更新情報）

【[欧州疾病予防管理センター（ECDC）](#)】

1. 世界の複数国で発生しているコレラアウトブレイクに関するモニタリング結果（月次更新）

【[欧州委員会健康・食品安全総局（EC DG-SANTE）](#)】

1. 食品および飼料に関する早期警告システム（RASFF : Rapid Alert System for Food and Feed）

【[ドイツ連邦リスクアセスメント研究所（BfR）](#)】

1. サルモネラとチョコレート製品 - ドイツで発生しているサルモネラ（*Salmonella* Bochum）アウトブレイク（2026 年 4 月）

【各国政府機関】

- 米国疾病予防管理センター (US CDC: Centers for Disease Control and Prevention)

<https://www.cdc.gov/>

1. 冷凍ブルーベリーに関連して複数州にわたり発生している大腸菌 O145 感染アウトブレイク (2026 年 7 月 6 日付初発情報)

E. coli Outbreak Linked to Frozen Blueberries

July 6, 2026

<https://www.cdc.gov/ecoli/outbreaks/blueberries-07-26/index.html>

<https://www.cdc.gov/ecoli/outbreaks/blueberries-07-26/investigation.html> (Investigation Update)

<https://www.cdc.gov/ecoli/outbreaks/blueberries-07-26/locations.html> (Locations)

<https://www.cdc.gov/ecoli/outbreaks/blueberries-07-26/timeline.html> (Timeline)

米国疾病予防管理センター (US CDC)、複数州の公衆衛生・食品規制当局および米国食品医薬品局 (US FDA) は、複数州にわたり発生している大腸菌 O145 感染アウトブレイクを調査するため、様々なデータを収集している。

疫学データは、GreenWise ブランドの冷凍有機ブルーベリーが大腸菌 O145 に汚染され、本アウトブレイクの感染源となった可能性があることを示している。

○ 疫学データ

2026 年 7 月 6 日時点で、大腸菌 O145 アウトブレイク株感染患者が 2 州から計 12 人報告されている (図 1)。患者の発症日は 2026 年 5 月 11 日～6 月 5 日である。情報が得られた患者 12 人のうち 4 人が入院し、死亡者は報告されていない。

図 1：大腸菌 O145 感染アウトブレイクの居住州別患者数（2026 年 7 月 6 日時点の計 12 人）

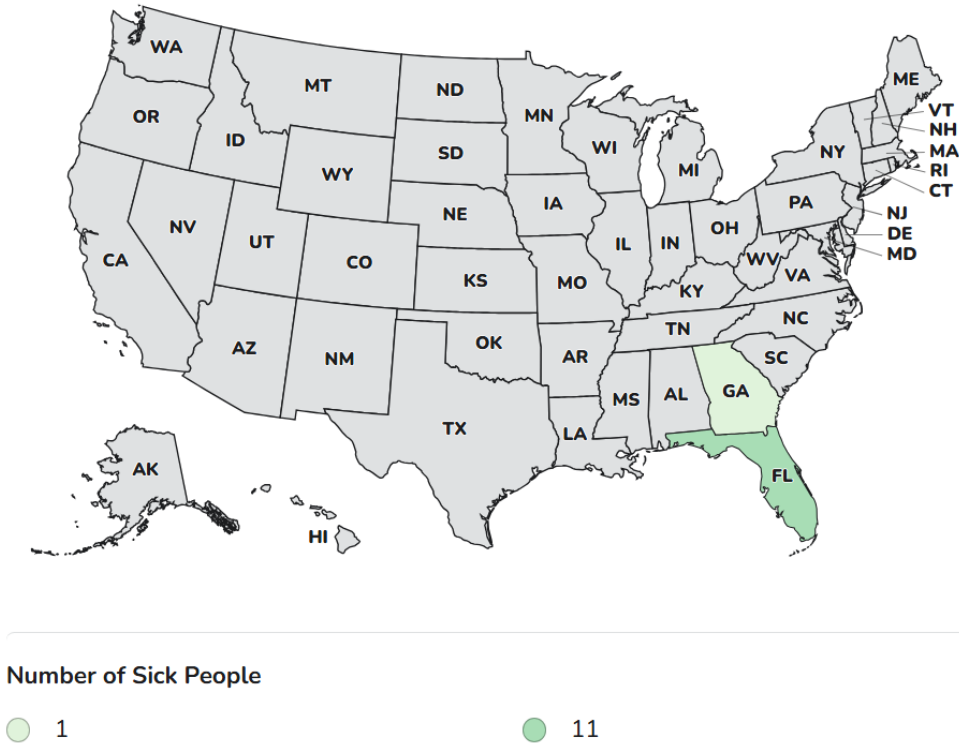
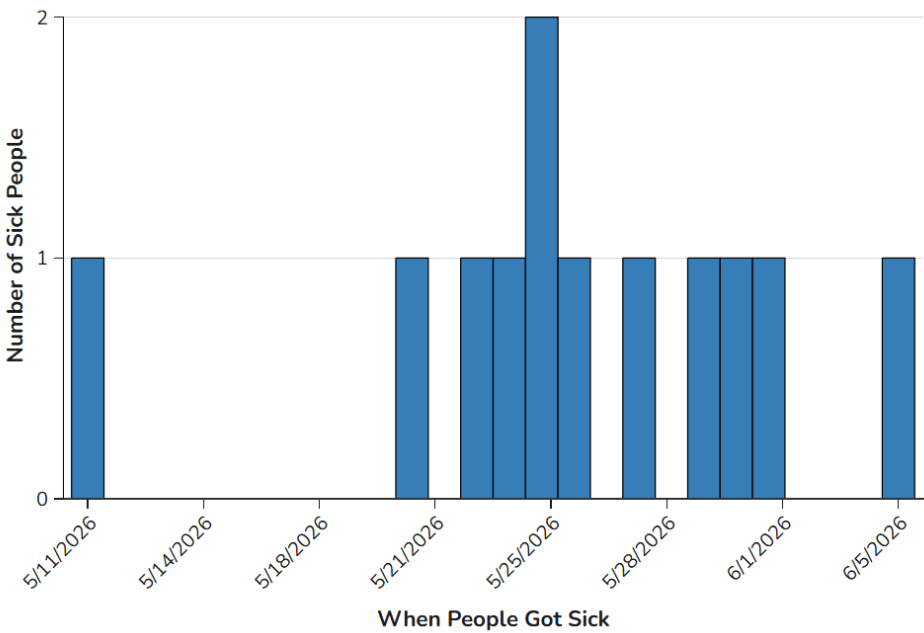


図 2：大腸菌 O145 感染アウトブレイクの発症日別患者数（2026 年 7 月 6 日時点の計 12 人）



公衆衛生当局は、患者の年齢・人種・民族・その他の人口統計学的特徴、および患者が発症前 1 週間に喫食した食品など、患者に関する様々な情報を多数収集している。これらの情報は、アウトブレイク調査で感染源を特定するための手掛かりとなる。

本アウトブレイクの患者について現時点で得られている人口統計学的情報は以下の通りである（n は当該情報が得られた患者の数）。

年齢（n=12）	年齢範囲：2～88 歳 年齢中央値：43 歳
性別（n=12）	50%：女性 50%：男性
人種（n=12）	100%：白人
民族（n=12）	83%：非ヒスパニック系 17%：ヒスパニック系

各州・地域の公衆衛生当局は、患者が発症前 1 週間に喫食した食品に関する聞き取り調査を行っている。聞き取りが実施された患者 9 人のうち 7 人（78%）が冷凍ブルーベリーの喫食を報告した。この割合は、過去に実施された FoodNet の住民調査（以下 Web ページ参照）において、回答者の 24%が調査実施日前 1 週間に冷凍のベリー類を喫食したと報告した結果と比較して有意に高かった。

<https://www.cdc.gov/foodnet/surveys/population.html>

この喫食率の差は、本アウトブレイクの患者が冷凍ブルーベリーの喫食によって感染したことを示唆している。

小売チェーン Publix で販売された GreenWise ブランドの冷凍有機ブルーベリーが、患者の多くが喫食した共通の食品として特定された。

○ 検査機関での検査データ

本アウトブレイクの公衆衛生調査では、アウトブレイク患者を特定するために PulseNet（食品由来疾患サーベイランスのための分子生物学的サブタイピングネットワーク）のシステムを利用している。CDC の PulseNet 部門は、食品由来疾患の原因菌の DNA フィンガープリントの国内データベースを管理している。原因菌の分離株には全ゲノムシーケンシング (WGS) 法により DNA フィンガープリンティングが行われる。WGS 解析により、本アウトブレイクの患者由来検体から分離された大腸菌株が遺伝学的に相互に近縁であることが示された。この結果は、本アウトブレイクの患者が同じ食品により感染したことを示唆している。

○ 公衆衛生上の措置

2026 年 7 月 3 日、Frutas y Hortalizas del Sur 社（チリ San Carlos）は GreenWise ブランドの冷凍有機ブルーベリーの回収を開始した（以下 Web ページ参照）。Publix は当該ブルーベリーの販売を停止した。CDC は、回収対象のブルーベリーを喫食・販売・提供しないよう注意喚起している。

<https://www.fda.gov/safety/recalls-market-withdrawals-safety-alerts/frutas-y-hortalizas-del-sur-sa-initiates-recall-frozen-greenwise-organic-igf-blueberries-due>

2. 乳児用調製粉乳に関連して複数州にわたり発生している乳児ボツリヌス症アウトブレイク（2026 年 7 月 6 日付更新情報）

Infant Botulism Outbreak Linked to Powdered Infant Formula, June 2026

July 6, 2026

<https://www.cdc.gov/botulism/outbreaks-investigations/infant-formula-june-2026/index.html>

<https://www.cdc.gov/botulism/outbreaks-investigations/infant-formula-june-2026/investigation.html> (Investigation Update)

<https://www.cdc.gov/botulism/outbreaks-investigations/infant-formula-june-2026/locations.html> (Locations)

<https://www.cdc.gov/botulism/outbreaks-investigations/infant-formula-june-2026/timeline.html> (Timeline)

米国疾病予防管理センター（US CDC）、複数州の公衆衛生・食品規制当局、カリフォルニア州公衆衛生局（CDPH）の乳児ボツリヌス症治療・予防プログラム（IBTPP）、および米国食品医薬品局（US FDA）は、複数州にわたり発生している乳児ボツリヌス症アウトブレイクを調査するため様々なデータを収集している。

疫学データは、Nara Organics 社の乳幼児用調製粉乳「Whole Milk Organic Infant Formula」がボツリヌス菌（*Clostridium botulinum*）に汚染されている可能性があり、本アウトブレイクの感染源となったことを示している。

○ 疫学データ

2026 年 6 月 26 日付更新情報以降に、新たに患者 1 人が調査対象に追加された。すべての患者は検査機関の検査により感染が確定している。

2026 年 7 月 6 日時点で、乳児ボツリヌス症の確定患者計 4 人が 3 州から報告されており、州別の内訳は、カリフォルニア（2 人）、ペンシルベニア（1）およびワシントン（1）である（図 1）。患者の発症日は 2026 年 4 月 20 日～5 月 31 日である（図 2）。

図 1：ボツリヌス症アウトブレイクの居住州別患者数（2026 年 7 月 6 日時点の計 4 人）

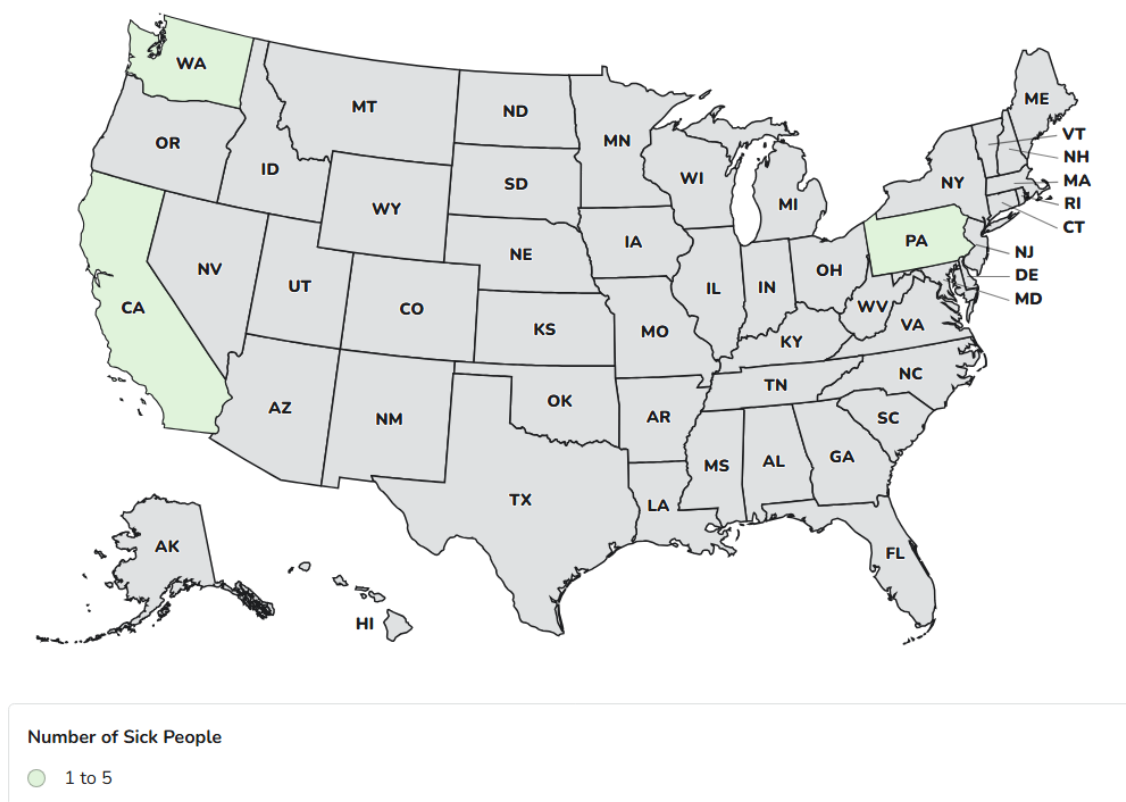
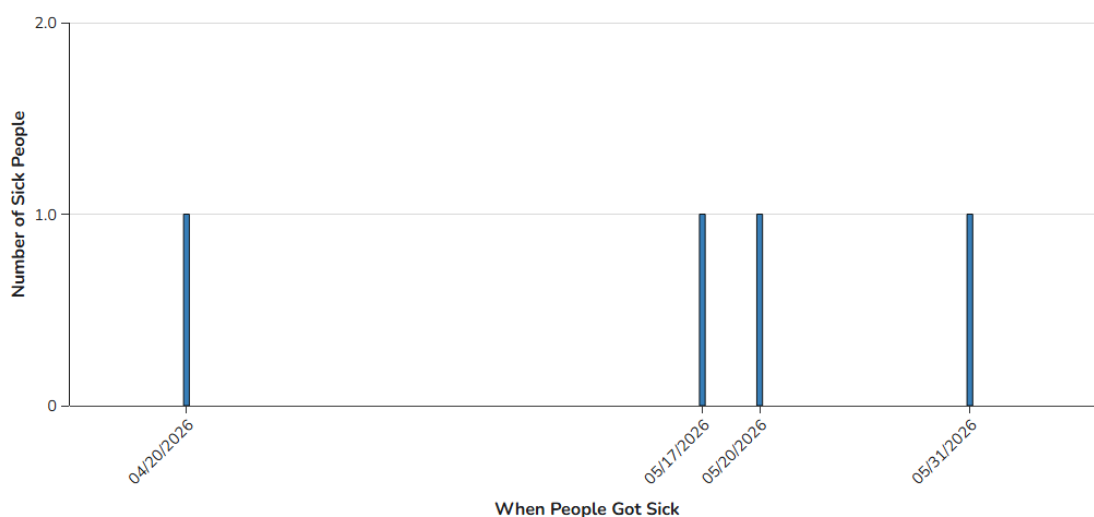


図 2：ボツリヌス症アウトブレイクの発症日別患者数（2026 年 7 月 6 日時点の計 4 人）



4 人の患者すべてが入院し、BabyBIG（抗ボツリヌスヒト免疫グロブリン製剤）による治療を受けた。死亡者は報告されていない。発症時の患者の年齢範囲は生後 68 日（2 カ月）

～153 日（5 カ月）で、4 人全員（100%）が男児である。患者は Nara Organics 社の乳幼児用調製粉乳「Whole Milk Organic Infant Formula」を喫飲したことが報告された。

○ 検査機関での検査および追跡調査によるデータ

各州の公衆衛生当局は乳幼児用調製粉乳の残品から検体を採取し検査を実施した。検査機関での検査の結果、本アウトブレイクの患者 1 人が喫飲した Nara Organics 社の開封済み乳幼児用調製粉乳 1 缶から *C. botulinum* が検出された。FDA は同じロット番号の未開封の製品から検体を採取し検査を実施している。

その他の製品についても FDA および関連各州の当局による検査が進められており、結果は数週間以内に得られる見込みである。

● FDA による調査の概要

2026 年 6 月 26 日、FDA は調査に関する情報を更新した（以下 Web ページ参照）。

<https://www.fda.gov/food/outbreaks-foodborne-illness/outbreak-investigation-infant-botulism-powdered-infant-formula-june-2026>

更新情報の概要は以下の通りである。

- ・ 監査の実施：FDA は本アウトブレイクの発生以前に、Nara Organics 社の乳幼児用調製粉乳を製造している 2 カ所の施設に対し監査を実施しており、指摘事項を通達していた。両施設とも FDA に対し是正措置に関する回答を提出しており、現在これを FDA が確認中である。
- ・ 過去のアウトブレイクと共通の供給業者：本アウトブレイクで患者が喫飲した Nara Organics 社の乳幼児用調製粉乳の特定の複数ロットは、Organic West Milk 社から供給された乳を Dairy Farmers of America 社が噴霧乾燥したものであった。これらの供給業者は、ByHeart ブランドの乳幼児用調製粉乳による 2025 年のアウトブレイク（食品安全情報（微生物）No.3 / 2026（2026.02.04）US CDC 記事参照）において乳および粉乳を提供していた同一の供給業者である。しかしながら、これらの製品が汚染されていたか、あるいは当該疾患の原因であったかを特定するには情報が不十分である。
- ・ 不完全な供給先情報：2025 年に発生したアウトブレイクの調査時に、Organic West Milk 社が FDA に提出した供給先リストは不完全であった。このリストには、当該業者が Nara Organics 社の乳幼児用調製粉乳の製造業者へ乳を提供していた情報が記載されていなかった。
- ・ 今後の調査：FDA は本アウトブレイクの汚染源を特定し、本件に関連している他の製品の有無を確認するため、調査を進めている。

○ 公衆衛生上の措置

2026 年 6 月 13 日、Nara Organics 社はすべての乳幼児用調製粉乳の回収を開始した（以

下 Web ページ参照)。Nara Organics 社の乳児用調製粉乳を所有している場合は使用すべきでない。調査は継続中である。

<https://www.fda.gov/safety/recalls-market-withdrawals-safety-alerts/nara-organics-recalls-all-lots-nara-infant-formula-because-possible-health-risk>

(食品安全情報 (微生物) No.14 / 2026 (2026.07.08) US CDC 記事参照)

3. ソフトチーズに関連して複数州にわたり発生しているリステリア (*Listeria monocytogenes*) 感染アウトブレイク (2026 年 6 月 29 日、24 日付更新情報)

Listeria Outbreak Linked to Soft Cheese

June 29 & 24, 2026

<https://www.cdc.gov/listeria/outbreaks/soft-cheese-06-26/index.html>

<https://www.cdc.gov/listeria/outbreaks/soft-cheese-06-26/investigation.html>

(Investigation Update)

<https://www.cdc.gov/listeria/outbreaks/soft-cheese-06-26/locations.html> (Locations)

<https://www.cdc.gov/listeria/outbreaks/soft-cheese-06-26/timeline.html> (Timeline)

米国疾病予防管理センター (US CDC) は、ソフトチーズに関連して複数州にわたり発生しているリステリア (*Listeria monocytogenes*) 感染アウトブレイクに関する更新情報を発表した。

2026 年 6 月 29 日付更新情報

疫学・追跡調査および検査機関での検査によるデータは、Clover Hill Dairy 社が供給した一部の Requesón チーズがリステリア (*Listeria monocytogenes*) に汚染され、本アウトブレイクの感染源となっていることを示している。汚染源の特定、および本件に関連しているチーズが他にもあるかどうかの確認のため、調査が進められている。

○ 検査機関での検査および追跡調査によるデータ

本アウトブレイクの公衆衛生調査では、アウトブレイク患者を特定するために PulseNet (食品由来疾患サーベイランスのための分子生物学的サブタイピングネットワーク) のシステムを利用している。米国疾病予防管理センター (US CDC) の PulseNet 部門は、食品由来疾患の原因菌の DNA フィンガープリントの国内データベースを管理している。原因菌の分離株には全ゲノムシーケンシング (WGS) 法により DNA フィンガープリンティングが行われる。WGS 解析により、本アウトブレイクの患者由来検体から分離されたリステリア株が遺伝学的に相互に近縁であることが示された。この結果は、本アウトブレイクの患者が同じ食品により感染したことを示唆している。

米国食品医薬品局（US FDA）および関連各州の当局は当該製品および環境由来の検体を採取し検査を行った。Requesón チーズ由来 6 検体および環境由来 1 検体からリステリアが検出された。WGS 解析の結果、当該チーズ由来リステリア株が患者由来リステリア株と同一であることが示された。

○ 公衆衛生上の措置

2026 年 6 月 26 日、La Ceiba Foods Latin Market 社は特定の Requesón チーズ（カッテージチーズ）の回収を開始した（以下 Web ページ参照）。CDC は、回収対象のチーズを喫食・販売・提供しないよう注意喚起している。

<https://www.fda.gov/safety/recalls-market-withdrawals-safety-alerts/la-ceiba-foods-latin-market-inc-recalls-cottage-cheese-products-because-possible-health-risk>

2026 年 6 月 24 日付更新情報

疫学・追跡調査および検査機関での検査によるデータは、Clover Hill Dairy 社が供給した一部の Requesón チーズがリステリア（*Listeria monocytogenes*）に汚染され、本アウトブレイクの感染源となっていることを示している。汚染源の特定、および本件に関連しているチーズが他にもあるかどうかの確認のため、調査が進められている。

○ 疫学データ

2026 年 6 月 15 日付更新情報以降、新たな患者 3 人が報告された。

2026 年 6 月 24 日時点でリステリアアウトブレイク株感染患者が 4 州から計 12 人報告されている（図 1）。患者由来検体は 2023 年 3 月 6 日～2026 年 6 月 2 日に採取された（図 2）。情報が得られた患者 12 人のうち 10 人が入院し、メリーランド州から死亡者が 1 人報告されている。

図 1：リステリア (*Listeria monocytogenes*) 感染アウトブレイクの居住州別患者数 (2026 年 6 月 24 日時点の計 12 人)

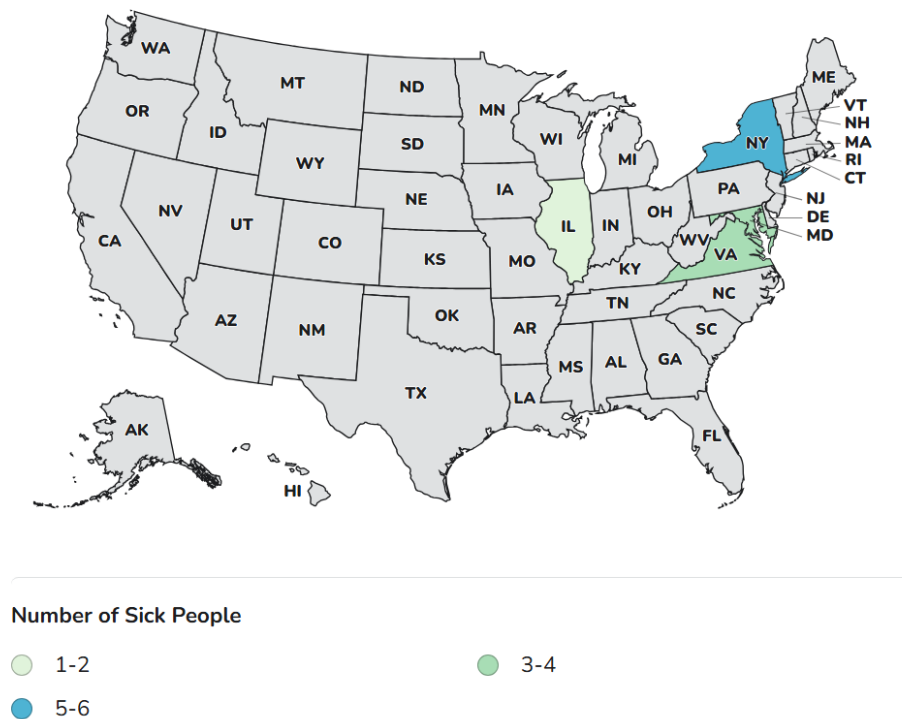
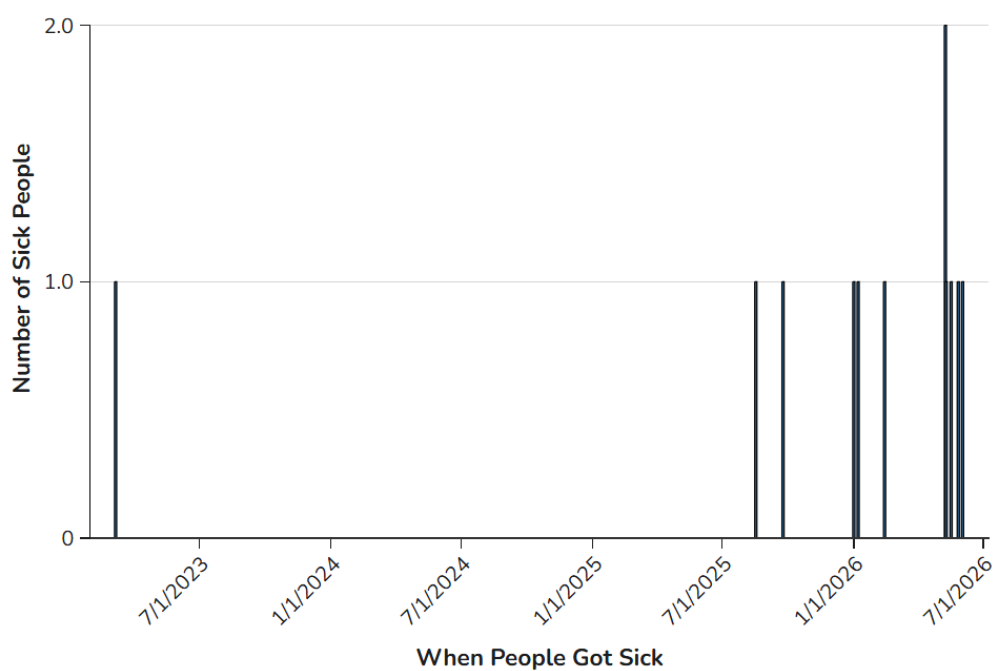


図 2：リステリア (*Listeria monocytogenes*) 感染アウトブレイクの発症日別患者数 (2026 年 6 月 24 日時点の計 12 人)



公衆衛生当局は、患者の年齢・人種・民族・その他の人口統計学的特徴、および患者が発症前 1 カ月間に喫食した食品など、患者に関する様々な情報を多数収集している。これらの情報は、アウトブレイク調査で感染源を特定するための手掛かりとなる。

本アウトブレイクの患者について現時点で得られている人口統計学的情報は以下の通りである（n は当該情報が得られた患者の数）。

年齢（n=12）	年齢範囲：16～81 歳 年齢中央値：55 歳
性別（n=12）	67%：女性 33%：男性
人種（n=9）	89%：白人 11%：その他
民族（n=11）	91%：ヒスパニック系 9%：非ヒスパニック系

各州・地域の公衆衛生当局は、患者が発症前 1 カ月間に喫食した食品に関する聞き取り調査を行っている。聞き取りが実施された患者 10 人のうち 9 人が何らかのチーズの喫食を報告した。患者 2 人は Clover Hill Dairy 社製の Requesón チーズの喫食を報告した。それ以外の患者は様々な種類のチーズへの曝露を報告した。これらのチーズが Clover Hill Dairy 社に関連しているかどうか確認するため調査は継続されている。

公衆衛生調査において、本アウトブレイクに関連している他の製品の有無を確認するため、患者が発症前に喫食した食品に関する情報の収集が続けられている。

○ 検査機関での検査および追跡調査によるデータ

本アウトブレイクの公衆衛生調査では、アウトブレイク患者を特定するために PulseNet（食品由来疾患サーベイランスのための分子生物学的サブタイピングネットワーク）のシステムを利用している。米国疾病予防管理センター（US CDC）の PulseNet 部門は、食品由来疾患の原因菌の DNA フィンガープリントの国内データベースを管理している。原因菌の分離株には全ゲノムシーケンシング（WGS）法により DNA フィンガープリンティングが行われる。WGS 解析により、本アウトブレイクの患者由来検体から分離されたリステリア株が遺伝学的に相互に近縁であることが示された。この結果は、本アウトブレイクの患者が同じ食品により感染したことを示唆している。

米国食品医薬品局（US FDA）および関連各州の当局は当該製品および環境由来の検体を採取し検査を行った。Requesón チーズ由来 6 検体および環境由来 1 検体からリステリアが検出された。WGS 解析の結果、当該チーズ由来リステリア株が患者由来リステリア株と同一であることが示された。

○ 公衆衛生上の措置

2026 年 6 月 18 日、Clover Hill Dairy 社は回収対象をすべてのチーズ製品へと拡大した（以下 Web ページ参照）。CDC は、回収対象のチーズを喫食・販売・提供しないよう注意喚起している。

<https://www.fda.gov/safety/recalls-market-withdrawals-safety-alerts/clover-hill-dairy-expands-recall-include-all-clover-hill-dairy-brand-cheese-due-possible-health-risk>

（食品安全情報（微生物）No.13 / 2026（2026.06.24）US CDC 記事参照）

4. モリンガリーフパウダーに関連して複数州にわたり発生しているサルモネラ（*Salmonella* Typhimurium および *S. Newport*）感染アウトブレイク（2026 年 6 月 30 日付更新情報）

Salmonella Outbreak Linked to Moringa Leaf Powder

June 30, 2026

<https://www.cdc.gov/salmonella/outbreaks/supergreenssupplementpowders-1-26/index.html>

<https://www.cdc.gov/salmonella/outbreaks/supergreenssupplementpowders-1-26/investigation.html> (Investigation Update)

<https://www.cdc.gov/salmonella/outbreaks/supergreenssupplementpowders-1-26/locations.html> (Locations)

<https://www.cdc.gov/salmonella/outbreaks/supergreenssupplementpowders-1-26/timeline.html> (Timeline)

米国疾病予防管理センター（US CDC）は、モリンガリーフパウダーに関連して複数州にわたり発生しているサルモネラ（*Salmonella* Typhimurium および *S. Newport*）感染アウトブレイクに関する更新情報を発表した。

2026 年 6 月 30 日付更新情報

米国食品医薬品局（US FDA）はアウトブレイク調査の一環として、原材料の供給業者である Total Nutrition 社にて採取された複数の検体について検査を行った。原材料 2 検体からサルモネラが検出されたが、アウトブレイク株とは一致しなかった。当該原材料は本アウトブレイクとの関連はなかったが、サルモネラが検出されたため、Total Nutrition 社は TNVitamins ブランドの「Organic Moringa Capsules 1,200 mg」（ロット番号 2800、消費期限 2028 年 2 月）および「100% Moringa Powder」（ロット番号 2782、消費期限 2028 年 5 月）の自主回収を開始した（以下 Web ページ参照）。

<https://www.fda.gov/safety/recalls-market-withdrawals-safety-alerts/total-nutrition-inc-recalls-organic-moringa-products-following-supplier-initiated-recall-due>

(食品安全情報(微生物) No.12/2026 (2026.06.10)、No.4/2026 (2026.02.18)、No.2/2026 (2026.01.21) US CDC 記事参照)

5. 米国のサイクロスポラ症患者に関する 2026 年のサーベイランス調査 (2026 年 7 月 14 日、10 日付更新情報)

Surveillance of Cyclosporiasis

July 14 & 10, 2026

<https://www.cdc.gov/cyclosporiasis/php/surveillance/index.html>

米国疾病予防管理センター (US CDC) は、共通の原因食品に関連したサイクロスポラ症アウトブレイクを探知するため、各州および連邦の公衆衛生・食品規制当局と協力し、年間を通じて米国内のサイクロスポラ症患者のモニタリングを行っている。

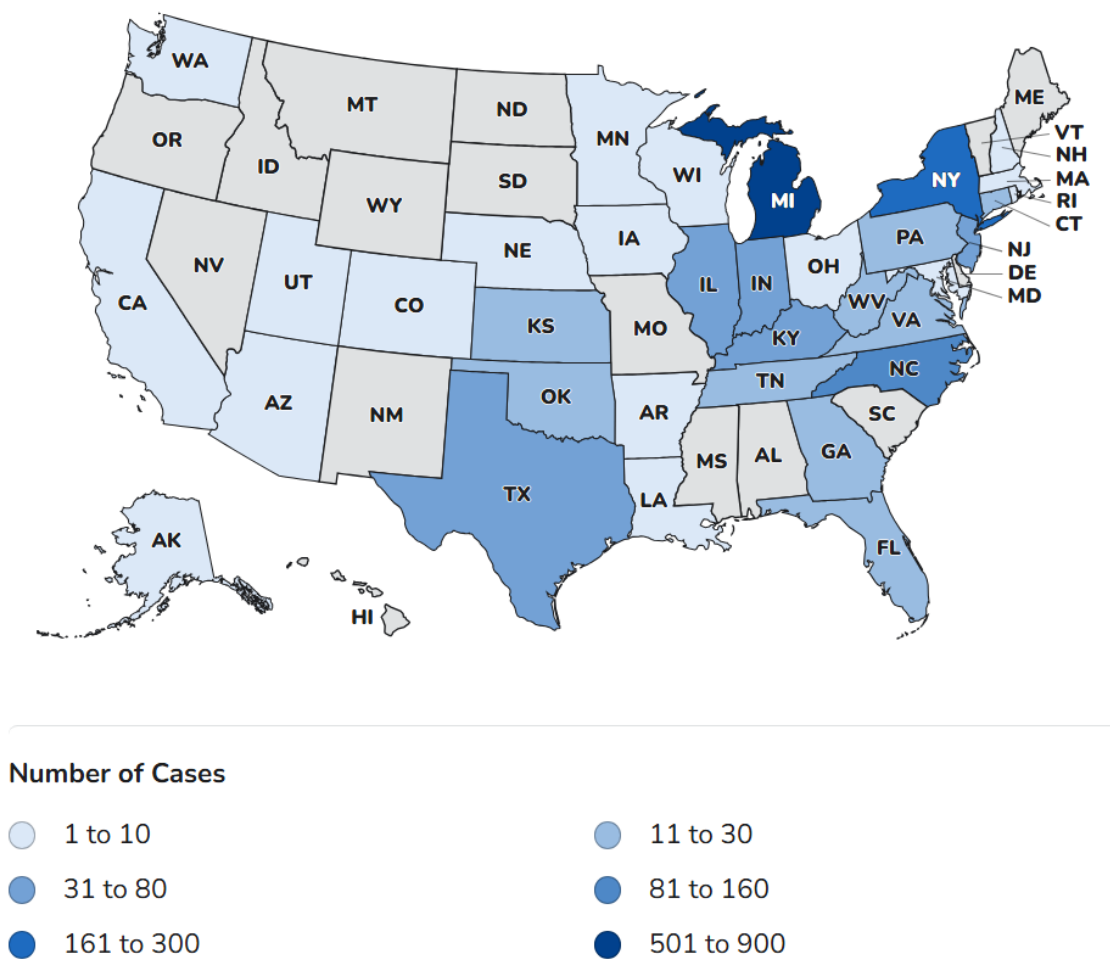
サイクロスポラ症の患者数は、春季および夏季の数カ月間に増加する。したがって、サイクロスポラ症の流行期は 5 月 1 日～8 月 31 日であると考えられている。この時期以外にサイクロスポラ症患者クラスターが検出された年が何回かあった。2026 年は 5 月 1 日からアウトブレイク患者が報告され始めた。

2026 年 7 月 14 日付更新情報

○ 国内感染サイクロスポラ症患者の発生状況

2026 年 7 月 13 日時点で、国内感染サイクロスポラ症の検査機関確定患者計 1,645 人が 34 州から報告されている (図)。これらの患者は米国内で食品を喫食後に発症し、発症前 14 日間の国外旅行歴を報告していない。

図:2026 年 5 月 1 日以降に発症した国内感染サイクロスポラ症患者の居住州別患者数(2026 年 7 月 13 日時点の計 1,645 人)



患者の年齢範囲は 2～95 歳、年齢中央値は 44 歳で、56%が女性である。発症日の中央値は 2026 年 6 月 22 日（範囲は 5 月 1 日～7 月 9 日）である。情報が得られた患者 1,645 人のうち 141 人が入院した。死亡者は報告されていない。

ここで今回報告された患者数は、米国各地のサーベイランスで集計された患者数の合計値であり、これには米国食品医薬品局（US FDA）が現在追跡調査を実施している複数の患者クラスター、および共通の感染源への関連が明らかになっていない患者が含まれている。可能性のある感染源を特定するための調査が進められている。

○ 国外感染サイクロスポラ症患者の発生状況

発症前 14 日間の国外旅行中に原因食品・水を飲食した患者が、2026 年 7 月 13 日時点で新たに 35 州から計 440 人報告された。患者の年齢範囲は 14～89 歳、年齢中央値は 45 歳で、59%が女性である。発症日の中央値は 2026 年 6 月 9 日（範囲は 5 月 1 日～7 月 8 日）

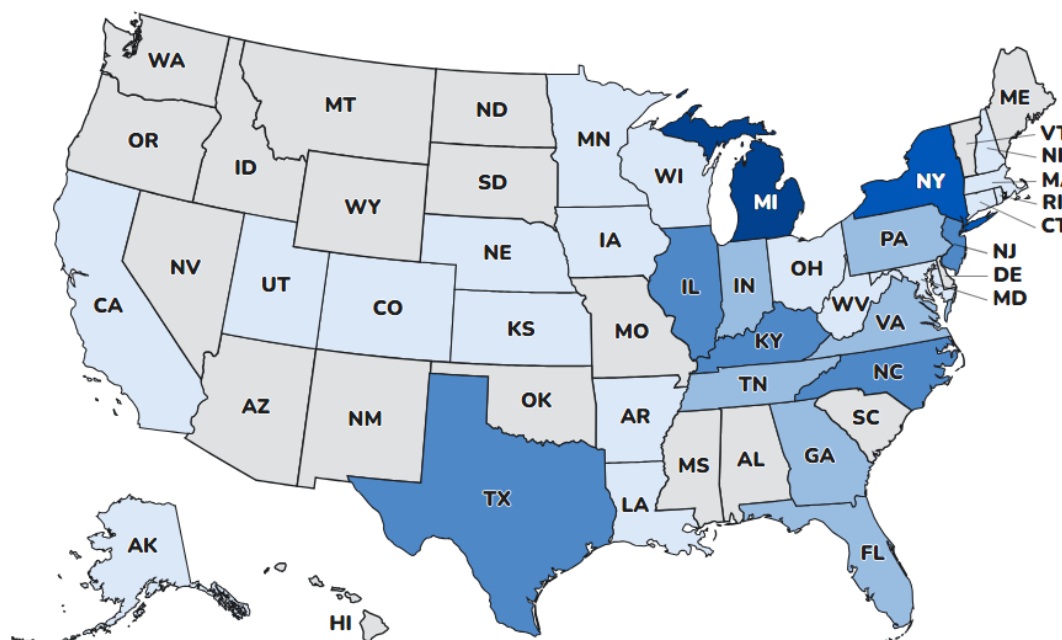
である。情報が得られた患者 440 人のうち 20 人が入院した。死亡者は報告されていない。

2026 年 7 月 10 日付更新情報

○ 国内感染サイクロスポラ症患者の発生状況

2026 年 7 月 9 日時点で、国内感染サイクロスポラ患者計 843 人が 31 州から報告されている (図)。これらの患者は米国内で食品を喫食後に発症し、発症前 14 日間の国外旅行歴を報告していない。

図:2026 年 5 月 1 日以降に発症した国内感染サイクロスポラ症患者の居住州別患者数(2026 年 7 月 9 日時点の計 843 人)



Number of Cases



患者の年齢範囲は 5～88 歳、年齢中央値は 44 歳で、59%が女性である。発症日の中央値は 2026 年 6 月 18 日 (範囲は 5 月 1 日～7 月 5 日) である。情報が得られた患者 843 人のうち 86 人が入院した。死亡者は報告されていない。

複数の管轄地域において、直近の 2 週間で、2025 年の同時期と比較して患者数が増加し

ていることが報告された。発症から米国疾病予防管理センター（US CDC）への報告までには 6 週間のタイムラグがあると想定される。今後データが受領されるにつれ患者数が増加していく見込みである。

CDC の調査チームは全国規模でデータの収集・解析・提供に尽力している。各州の保健当局はそれぞれの管轄地域の状況に関して、より多くの情報を迅速に把握している可能性がある。

地域・州の公衆衛生当局、CDC および米国食品医薬品局（US FDA）は、複数州で発生している複数の患者クラスターを調査している。ここで今回報告された患者数は、米国各地のサーベイランスで集計された患者数の合計値であり、これには FDA が現在追跡調査を実施している複数の患者クラスター、および共通の感染源への関連が明らかになっていない患者が含まれている。可能性のある感染源を特定するための調査が進められている。

○ 国外感染サイクロスポラ症患者の発生状況

発症前 14 日間の国外旅行中に原因食品・水を飲食した患者が、2026 年 7 月 9 日時点で新たに 32 州から計 343 人報告された。患者の年齢範囲は 15～89 歳、年齢中央値は 46 歳で、59%が女性である。発症日の中央値は 2026 年 6 月 7 日（範囲は 5 月 1 日～6 月 5 日）である。情報が得られた患者 343 人のうち 18 人が入院した。死亡者は報告されていない。

（食品安全情報（微生物）No.14 / 2026（2026.07.08）US CDC 記事参照）

● 欧州疾病予防管理センター（ECDC: European Centre for Disease Prevention and Control）

<https://www.ecdc.europa.eu/en>

世界の複数国で発生しているコレラアウトブレイクに関するモニタリング結果（月次更新）

Cholera – Multi-country (World) – Monitoring global outbreaks – Monthly update

Communicable disease threats report, 25-30 April 2026, Week 18

30 April 2026

<https://www.ecdc.europa.eu/sites/default/files/documents/2026-WCP-0022%20Final.pdf>

（報告書 PDF）

<https://www.ecdc.europa.eu/en/publications-data/communicable-disease-threats-report-25-30-april-2026-week-18>

欧州疾病予防管理センター（ECDC）は、「感染症週報 2026 年 4 月 25～30 日（第 18 疫学週）号（Communicable disease threats report, 25-30 April 2026, Week 18）」を発行した【編者注：報告書本文では第 18 疫学週は 4 月 25 日～5 月 1 日と記載されている】。これよりコレラアウトブレイクに関する概要部分を紹介する。

報告書概要

コレラ — 複数国（世界） — 世界的アウトブレイクのモニタリング — 月次更新

- ・ 2026 年 1 月 1 日以降、2026 年 4 月 28 日までに、世界各国で死亡者 768 人を含む 65,153 人のコレラ患者が報告された。
- ・ 2026 年 3 月 30 日以降、2026 年 4 月 28 日までに、世界各国で新たに、死亡者 272 を含む 20,028 人のコレラ患者が報告された。
- ・ 患者報告数が特に多い 5 カ国は、アフガニスタン(7,446 人)、コンゴ民主共和国(6,146)、イエメン(1,564)、マラウイ(1,486) およびモザンビーク(944) である。
- ・ 新たな死亡者の報告数が特に多い 5 カ国は、コンゴ民主共和国(216 人)、アンゴラ(17)、ナイジェリア(16)、コンゴ共和国(12) およびザンビア(4) である。
- ・ アフリカ、アジア、中東および米州でコレラ患者が継続的に報告されている。これらの国を訪れる旅行者がコレラに罹患するリスクは依然として低い、欧州連合／欧州経済領域（EU/EEA）内に患者が散発的に入り込む可能性はある。

図 1：コレラ患者が報告された地域（2026 年 2～4 月）

Figure 1. Geographical distribution of cholera cases reported worldwide from February 2026 to April 2026

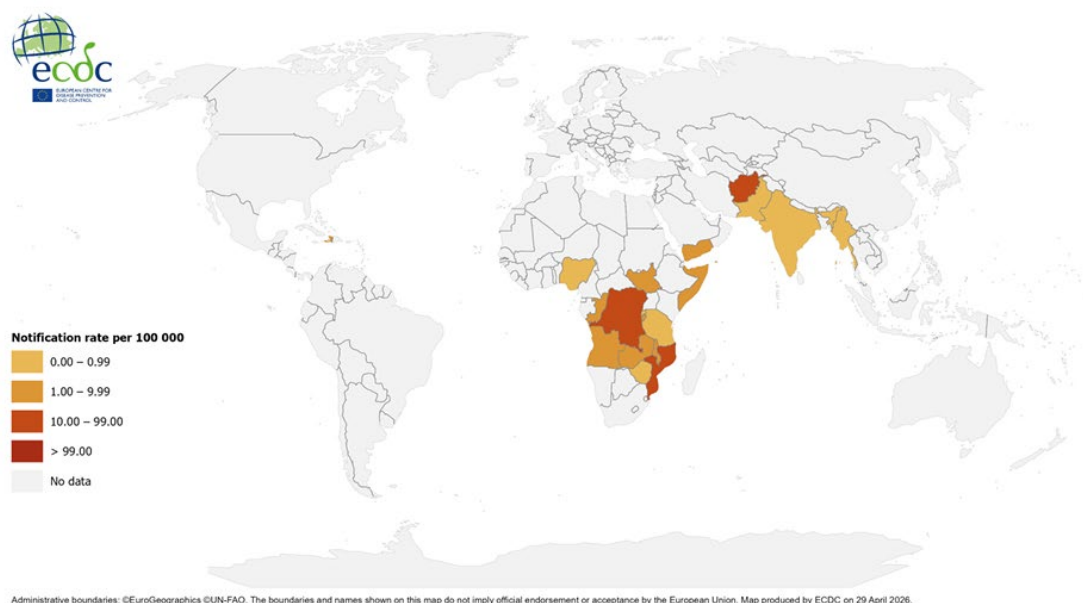
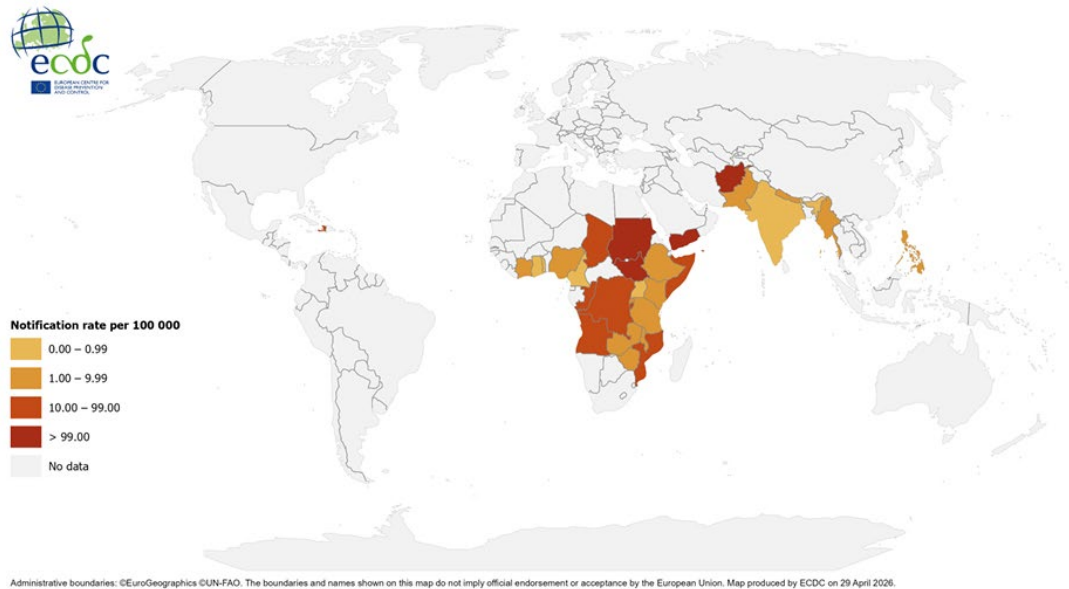


図 2：コレラ患者が報告された地域（2025 年 4 月～2026 年 4 月）

Figure 2. Geographical distribution of cholera cases reported globally from April 2025 to April 2026



● 欧州委員会健康・食品安全総局（EC DG-SANTE: Directorate-General for Health and Food Safety）

https://commission.europa.eu/about/departments-and-executive-agencies/health-and-food-safety_en

食品および飼料に関する早期警告システム（RASFF : Rapid Alert System for Food and Feed）

https://food.ec.europa.eu/food-safety/rasff_en

RASFF Portal Database

<https://webgate.ec.europa.eu/rasff-window/screen/search>

Notifications list

<https://webgate.ec.europa.eu/rasff-window/screen/list>

2026 年 7 月 1～14 日の主な通知内容

警報通知 (Alert Notification)

日本産とんぶりのクロストリジウム、イタリア産冷蔵牛肉の志賀毒素産生性大腸菌、ポルトガル産七面鳥肉のサルモネラ (*S. Typhimurium*)、フランス産チョコレートムースの腸内細菌科菌群、ギリシャ産タヒニ (フムス用) のサルモネラ属菌、ポーランド産鶏肉のサルモネラ、ベルギー産冷凍マンゴーケーキのリステリア (*L. monocytogenes*)、ポーランド産チーズのリステリア (*L. monocytogenes*)、スペイン産羊チーズのリステリア (*L. monocytogenes*)、スロバキア産鶏肉製品のサルモネラ属菌、フランス産ブリーチーズのリステリア (*L. monocytogenes*)、ポーランド産の生鶏肉ケバブのサルモネラ属菌、スペイン産冷凍ミックスペリーの A 型肝炎ウイルス、フランス産七面鳥肉カツレツのサルモネラ、ポーランド産七面鳥肉製品のサルモネラ (*S. Typhimurium*)、ポーランド産冷凍鶏肉のサルモネラ (*S. Enteritidis*)、ポーランド産ケバブ肉 (鶏・七面鳥) のサルモネラ (*S. Kentucky*)、ベルギー産トラウト細切りのリステリア (*L. monocytogenes*)、イタリア産ソフトチーズのリステリア (*L. monocytogenes*)、ベルギー産牛肉製品のサルモネラ、ベルギー産・オランダ産家禽肉のサルモネラ (*S. Typhimurium*)、リトアニア産冷凍牛肉バーガーパテのサルモネラ (*S. Coeln*)、ポーランド産加熱済み鶏肉ケバブのサルモネラ (*S. Infantis*) など。

注意喚起情報 (Information Notification for Attention)

ポーランド産鶏もも肉 (骨・皮なし) のサルモネラ (*S. Infantis*、1/5 検体陽性)、ポーランド産鶏むねひき肉のサルモネラ (*S. Infantis*、3/5 検体陽性)、中国産乾燥カイコ蛹 (飼料) のサルモネラ属菌、マダガスカル産加熱済みエビのリステリア (*L. monocytogenes*)、オランダ産 (アイルランドでカット・包装) のトリュフ入りゴーダチーズのリステリア (*L. monocytogenes*)、ルーマニア産鶏肉のサルモネラ属菌、ポーランド産家禽肉のサルモネラ (*S. Typhimurium*)、リトアニア産ブロイラーもも肉のサルモネラ属菌、ポーランド産冷蔵七面鳥脚肉のサルモネラ (*S. Kentucky*)、イタリア産活イガいの腸炎ビブリオ (*V. parahaemolyticus*)、ケニア産有機マカダミアナッツのサルモネラ属菌、ポーランド産鶏むね肉 (薄切り) のサルモネラ (*S. Enteritidis*、4/5 検体陽性)、ポーランド産鶏むね細切り肉のサルモネラ (*S. Newport*、2/5 検体陽性)、ブラジル産大豆ミール (飼料原料) のサルモネラ、ポーランド産鶏心臓肉のサルモネラ (*S. Infantis* (4/5 検体陽性)、*S. Enteritidis* (1/5 検体陽性))、ポーランド産鶏もも肉のサルモネラ (*S. Enteritidis*、5/5 検体陽性)、ポーランド産鶏脚肉のカンピロバクター (*C. coli*) とシュエドモナス属菌、モーリタニア産魚粉の腸内細菌科菌群、フィリピン産魚粉のサルモネラ属菌、エジプト産タイムのサルモネラ、ウクライナ産冷蔵鶏むね肉のサルモネラ (*S. Infantis*)、オランダ産サバ (*Scomber scombrus*) のアニサキス (幼虫)、アイルランド産加熱済みハム製品のリステリア (*L. monocytogenes*) の可能性、ポーランド産七面鳥ひき肉のサルモネラ属菌など。

フォローアップ喚起情報 (Information Notification for follow-up)

スロバキア産冷凍ブロイラーもも肉のサルモネラ (*S. I* (-:r:1,5)、1/5 検体陽性)、飼料用大豆タンパク質のサルモネラ (*S. Senftenberg*)、ベルギー産 (オランダ経由) 冷凍家禽肉のサルモネラ (*S. Infantis*)、フランス産ベーコン(角切り)のリステリア (*L. monocytogenes*)、リトアニア産ビール酵母のサルモネラ (*S. Isangi*)、バングラデシュ産の生ブラックタイガーエビのコレラ菌、ルーマニア産の生乳の一般生菌数の基準超過 (300,000 CFU/ml)、ドイツ産飼料原料のサルモネラ属菌、ルーマニア産鶏肉のサルモネラ属菌など。

通関拒否通知 (Border Rejection Notification)

ナイジェリア産皮むきゴマ種子のサルモネラ属菌、インド産粉末チリペッパーのサルモネラ、ブラジル産家禽肉製品のサルモネラ属菌、ナイジェリア産ゴマ種子のサルモネラ属菌など。

● ドイツ連邦リスクアセスメント研究所 (BfR: Bundesinstitut für Risikobewertung)

<https://www.bfr.bund.de/>

サルモネラとチョコレート製品 - ドイツで発生しているサルモネラ (*Salmonella* Bochum) アウトブレイク (2026 年 4 月)

Salmonella and chocolate products

22/04/2026

https://www.bfr.bund.de/assets/01_Veröffentlichungen/Mitteilungen_englisch/salmonella_and_chocolate_products.pdf (PDF 版)

<https://www.bfr.bund.de/en/notification/salmonella-and-chocolate-products/>

2026 年 4 月 16 日、ロベルト・コッホ研究所 (RKI) は疫学情報誌「Epidemiologisches Bulletin 16/2026」において、ドイツにおけるサルモネラ症の食品由来アウトブレイクを報告した (以下 Web ページ参照)。当該アウトブレイクにより、2026 年 4 月 14 日時点でドイツの複数州 (主に東部の州) から *Salmonella* Bochum 株感染患者 40 人が報告された。患者は主に 15 歳以下の児童であった。本アウトブレイクに関連して 60 歳以上の患者 1 人が死亡した。近隣の欧州諸国からも散発患者が報告されている。

https://www.rki.de/DE/Aktuelles/Publikationen/Epidemiologisches-Bulletin/2026/16_26.pdf?__blob=publicationFile&v=4 (報告書 PDF)

RKI によると、感染患者への聞き取り調査の結果、ヘーゼルナッツ・ヌガー・クリーム (hazelnut nougat cream) が本アウトブレイクの原因食品である可能性が示された。2026 年 4 月 9 日、チョコレート製品の製造業者 1 社が特定のバッチのヘーゼルナッツ・ヌガー・クリームの製品回収を発表した。理由は、社内品質管理検査において製品からサルモネラが検出されたためであった。複数の食品微生物検査機関において、遺伝子プロファイリングを用いて、患者から汚染源までの経路を途切れることなく追跡する取り組みが精力的に進められている。

サルモネラは、ドイツ国内の胃腸疾患の原因菌としてカンピロバクターの次に多く検出される細菌である。加熱不十分または生の食肉・食肉加工品、加熱処理されていない卵・卵製品、植物性食品などは特に高リスク食品である。

チョコレート製品は、過去にも繰り返し疾患アウトブレイクの主要な原因となってきた。チョコレートスプレッドのように脂肪分の多い製品では、ごく少量の細菌であっても病気を引き起こす可能性がある。サルモネラ症は下痢および腹痛を伴うことが多いが、発熱、吐き気および嘔吐がみられることもある。生後数年の小児、および高齢や基礎疾患などにより免疫機能が低下している人では、特に感染リスクが高い。

(食品安全情報 (微生物) No.9 / 2022 (2022.04.27) BfR 記事参照)

食品微生物情報

連絡先：安全情報部第二室